

写真 アート・ドキュメンタリー・
コマーシャル

3

March
2024 NO.180

月刊 アートコレクターズ

*The Pleasure To See.
The Pleasure To Buy.*

Art Collectors'

写真

アート
ドキュメンタリー
コマーシャル

寄稿

清水穰 後藤繁雄

馬場伸彦

中特集

アートフェア東京2024

若冲 銀座降臨!展
—若冲水墨画と江戸絵画—
3月9日(土)~3月30日(土)

価格は
要問合せ



「竹に雄鶏図」

伊藤若冲(1716~1800)の水墨画に注目した展覧会。今展では若冲得意の「鶏」や「鯉」など様々な対象を描いた作品の他、若冲と同時代もしくはそれ以降に活躍した画家の水墨画も展示する。協力:景和コレクション(古美術景和)

永井画廊
TEL.03(5545) 5160
中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5F

志賀龍太 個展
「日は好日—世界を塗り替えて—」
3月2日(土)~3月8日(金)

掲載作品
25.41万円

「日は好日」というテーマで、生活の中のふとした瞬間を切り取り、絵本のような不思議な日常を作品で表現している志賀龍太。東京での初個展となる。

美の起原 TEL.050(3150) 9998
中央区銀座8-4-2 高木屋ビル1F



「世界を塗り替えて」油彩、キャンバス 30号F

神戸智行 展 —愛しきもの—
3月14日(木)~3月23日(土)

価格は
要問合せ

主に日本美術の古典から学び、その現代的な解釈を行っている神戸智行。六曲一隻の大作を含め、生き物たちのひたむきに生きる姿を描いた新作群を発表する。アートフェア東京2024でも同じ作品を出品。

ギャラリー広田美術 TEL.03(3571) 1288
中央区銀座7-3-15 ぜん屋ビル1F



「思いを懸ける」2023年 紙本彩色 15号M(参考作品)

深津真也 個展「森蝶」
3月13日(水)~3月30日(土)

価格は
要問合せ

自身のリアリズムを追求した細密で繊細な表現で静謐な日本画風の作品を描き、広告や装幀、挿画などの分野で長年活躍する画家、イラストレーターの個展。花々や郷土玩具を描いた作品を新旧織り交ぜて展示。

Gallery MUMON TEL.03(6226) 2555
中央区銀座4-13-3



「森蝶」2019年 アクリル絵具、和紙 32×24cm

谷口ナツコ 個展「日常の極楽」
3月8日(金)~3月21日(木)

価格は
要問合せ

日常生活の美しい風景からインスピレーションを受け、自作の画材と独自の技法を用い、画面上を点や線で埋め、巨大な作品を制作している谷口ナツコの新作5点を発表する。

木之庄企画 TEL.03(6262) 3558
中央区京橋2-11-11 宝永ビル101



「初冬」2023年 アクリル、ジェッソ、寒冷紗、パネル 116.5×116.5cm

山本冬彦推薦作家展19
3月4日(月)~3月9日(土)

価格は
要問合せ

銀座中央ギャラリー恒例のアートソムリエ山本冬彦の推薦作家展。ジャンルや地域を超えた7名の様々な作品を展示。出品作家は伊藤乃愛、東尾文華、山口菜摘、瀬尾こころ、土淵麻衣、菊池鮎子、新塾康平。

銀座中央ギャラリー TEL.090(2919) 8651
中央区銀座1-9-8 奥野ビル411



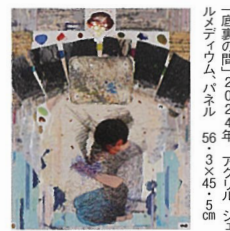
菊池鮎子「野提灯」紙本彩色 0号F

山下耕平 展
3月14日(木)~3月23日(土)

価格は
要問合せ

マチエール豊かな独自の表現で評価され、「VOCA展2024」にも出品予定の山下耕平。今展では自身のアトリエを主題とし、不安や迷いも含んだ制作時の思考の有様を表現した作品約10点を展示する。

ギャラリー 58 TEL.03(3561) 9177
中央区銀座4-4-13 琉映ビル4F



「底裏の間」2024年 アクリル絵具、ルメティウム、パネル 56×3×45.5cm

岡村桂三郎 展
2月26日(月)~3月9日(土)

価格は
要問合せ

岩絵具を使用しながら、従来の日本画の範疇にとられない表現によって、生命力の豊穡を表現してきた岡村桂三郎。今展では、掲出作のように布に顔料で描画した大作4点を展示する予定。

コバヤシ画廊 TEL.03(3561) 0515
中央区銀座3-8-12 ヤマトビルB1



岡村桂三郎展(2023年・コバヤシ画廊)会場風景

本木ひかり 展 糸をまとう
3月1日(金)~3月16日(土)

号4万円

揺れ動く感情や変化する身体、相反するものを見つめ、それらを内包した女性像を描く本木ひかり。6回目の個展となる同展では、100号の大作を含む新作約10点を発表する。

SASAI FINE ARTS TEL.03(5159) 7402
中央区銀座3-7-20 銀座日本料理会館2F



「或る日」2023年 油彩、キャンバス 15号P

MASAHITO HIRANUMA
solo. Exhibition

価格は
要問合せ

3月5日(火)~3月11日(月)

特徴的な線と大胆な色づかいで世界を切り取るMASAHITO HIRANUMAの個展。作家の感性がダイレクトに画面に表れた作品を展示する。

創英ギャラリー TEL.03(6274) 6698
中央区銀座7-2-6 銀座アステルビル1F



「ミッシェル」油彩 10号F

吉川民仁「景色の声音」展
2月24日(土)~3月24日(日)

価格は
要問合せ

四季の移ろい、風の動きや光などからインスピレーションを得る吉川民仁。マチエールの豊かな表情と詩情豊かに描かれる自然の姿が魅力だ。「景色の声音」と題する同展では、新作約40点を披露する。

ギャラリーためなが TEL.03(3573) 5368
中央区銀座7-5-4



「秋涼」油彩、キャンバス 182×227cm

第4回 銀座中央ギャラリー 募集 公募展

<https://chuogallery.com/>



昨年に続き、広く公募により全国より作品を募集する展覧会を開催します。作品サイズはF4号サイズと固定し、審査の公平性と一般のご家庭でも展示しやすく、またお求めしやすいようにしました。大賞作品の作者には個展開催権限を授与。今年も特別審査員の他、コレクター審査と一般鑑賞者の投票があります。

■ 募集開始:3月1日から応募フォームに作品画像を添付して申込み
■ 募集締切:4月20日 ■ 会期:2024年6月24日(月)~30日(日)

筒井文那 個展

Fumina Tsutsui

思い出つぎはぎ穴あきのきみ

3.15(Fri.) ~ 3.30(Sat.)

11:00-18:00

NODA CONTEMPORARY

〒460-0008
名古屋市中区栄3-32-9 アークロック栄ビル3F
Tel:052-249-3155
<http://www.nodacontemporary.com>

「つぎはぎにすぎきみ」P40 木製・パネルにプリント紙、アクリル絵具、色鉛筆

Booth No. L009

花田美術

銀座に店舗を構え、国内外の近代～現代美術を紹介している花田美術。40年以上蓄積された豊富な経験値と、顧客への丁寧な対応で信頼を集めている。今回は、ロシア出身・日本在住で「攻殻機動隊 SAC_2045」のキャラクターデザインなどで知られるイリヤ・クブシノブの個展を開催。日本の漫画・アニメ文化への深い愛と確かなデザイン力に支えられた作品を楽しみたい。



「blonde」漆作品 30×30cm

Booth No. S001

RYUSENDO GALLERY

陶芸家・伊藤秀人とRYUSENDO GALLERYが協力し、新たなやきものの価値の創出を試みた。それは立体造形でありながら平面作品として美的に成立する青磁作品だ。東洋古美術の古典的方法論から逸脱しないことを条件に、現代ならではの表現方法を追求したという。青磁には、歴史上の膨大な時間が凝縮され、自然界の理やその美しさが表れている。今回は絵画的な画面として、あえて平面に焼き付けることにより、従来のやきものを拡張するような美しさを探求した。抽象表現主義における色彩への没入感を感じさせるような、必ずしも言語に頼らない直覚する美が実現した。



伊藤秀人「CELADON:FLAT」20×20cm

Booth No. N062

ギャラリーためなが

同フェア初出展となる木下友梨香、同画廊で個展を成功させた江川直也や北川麻衣子、山本大也に加え、昨年に続き参加する小津航の5名による作品約20点以上が展示される。各々の個性のきらめきに注目したい。



木下友梨香「アビサル」130×97cm

Booth No. N067

日動画廊

写真表現を用いた現代の美人画で人気を博す山本大貴による新・近作約15点と、同画廊が扱う日本近代洋画の大家が描いた女性像を一堂に展覧。また、芸能事務所「プロダクション尾木」とコラボし、所属タレントをモデルにした作品の展示も行う。



山本大貴「Blue Veil」油彩 36cm

Booth No. N076

GALLERY KOGURE

技術とコンセプトを備えた現代美術作品を紹介し続けているギャラリー。今回出展するのは、柏田忠、山口英紀、伊藤航、吉田泰一郎、北島麻里子、黒瀧舞衣、大森記詩、佐久間あすか、イニーゴ・ナヴァロ、LOTTA、山本隆博という現存作家11名の作品。

大森記詩「EVE」2023年
ブロンズ、ロストワックス精密造
H 39.5×W 14.0×D 8.0cm

Booth No. S027

WAITINGROOM

東京・江戸川橋に店舗を構え、絵画や写真だけでなく、映像、インスタレーションなど先進的な現代美術作品を紹介している。今回は、日々描いているドローイングをもとに平面空間におけるモノや人の実存を探る大久保紗也の個展を開催。新作を発表する。



「Speaking (intro)」2023年、油彩、アクリル、キャンバス、パネル 140.5×112.0cm ©Sara Oshio, courtesy of the artist and WAITINGROOM (東京都)

Booth No. N040

田口美術

岐阜を拠点に、確かな技術と深い知識を前提に挑戦的な表現を志向する作家を数多く紹介してきた同画廊。鍛金の塩見亮介、日本画の服部しほり、七宝の春田幸彦の作品を通して、妖しさを纏いながらも抗えない魅力を持つ美の世界を堪能する。



春田幸彦「有線七宝法相華文銅鑪」七宝、銀銅（制作中）

Booth No. N043

NODA CONTEMPORARY

名古屋を拠点に全国で企画展を行う同ギャラリー。今回は、下家杏樹、上野英里、大河原愛、筒井文那、安藤宜晃、瀬川亮河、若林彩、しりあがり寿が出品。個性豊かな作家それぞれの表現の違いが鑑賞者の目を楽しませる。



下家杏樹「寒暖差アレルギー」2024年、油彩、キャンバス 15号F

吉原治良《作品(円相) ca.1969》
画用紙・ガッシュ
(45×37cm)

脈々と
GUTAI

「脈々とGUTAI 立川」

2.28|水|~3.12|火|

伊勢丹立川店8Fアートギャラリー

「脈々とGUTAI 有楽町」

3.8|金|~3.10|日|

東京国際フォーラム

Booth L006

2会場同時開催

具体美術協会24アーティスト100作品が東京に集結

鳩 hatonomori art

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-30-5
TEL 03-3480-8100 <http://hatonomori-art.jp>